

擊墜 二四九

擊破 三二一

(五七六六)

五八〇五 歐洲本土爆撃に因る英空軍の損害

英空軍次官バルフ

オアは下院に於て、英空軍は五月中に獨及西部歐洲で爆撃機二百五十二を喪失、今年に入つて五箇月間の喪失總計は八百七十四機に達した旨發表した (五六五二)

五八〇六 英東地中海艦隊司令官更迭 英海軍省は海軍中將サー・

ジョーン・カンニングハム Sir John Cunningham がサー・ラルフ・レ

ーサムの後任として東地中海前線艦隊司令官に任命された旨發表した、同中將は北阿反樞軸海軍總司令官大將アンドリュウ・

カンニンガム(四五八九)の弟である (五〇〇七) 五八〇七 米陸海軍の徵用船舶數 ヴエノスアイレス十日發同盟

電に依れば米戰時海運局長官ランドは最近一九三九年より一九四二年末迄の滿四箇年間に米陸海軍に徵用された船舶總數を次の通り發表した

陸軍	一隻數	重量噸
海軍	一三三	三三〇〇〇
計	二四三	一、七〇〇〇
	三五六	五〇〇〇〇

又大東亞戰爭開始後滿一箇年間に陸軍輸送船は合計一千五十萬噸の貨物を海外に輸送した、右は海外派遣兵一名に對し一日八十二封度宛の貨物を輸送したことになる (五六一七)

五八〇八 駐米西大使歸任 駐米スペイン大使カルデナス Don Juan Francisco de Cardenas はマドリードから空路ニューヨークに到着、

直ちに華府に向つた (五五四二)

五八〇九 亞國陸軍、航空會社を管理 アルゼンチン政府は國內航空會社を陸軍當局の管理下に置く旨布告した (五八〇一)

五八一〇 獨伊西、亞政府承認 獨、伊、スペイン三國政府は夫夫アルゼンチン新政府を承認した旨發表した (五八〇九)

五八一 國際共產黨解散 國際共產黨中央執行委員會は正式に同黨解散案を採擇し、同委員會、幹部會、書記局、國際統制委員會を夫々十日を以て解散することに同日決定、今後の一切の解散手續を前國際共產黨書記長デイミトロフに一任した (五六七九)

五八一二 ソ聯戰時公債消化狀況 ソ聯財務人民委員部は同國政府が四日發行した總額百二十億ルーブルの戰時公債の消化狀況

ソ聯財務人民委員部は同國政府が四日發行した總額百二十億ルーブルの戰時公債の消化狀況

に關し、九日夜迄に買入申込は二百一億二千一百万ルーブルに
達した旨發表した (五八一)

五八一

英に新政黨結成せらる 中央黨と呼ばれる新政黨の結
成式がオックスフォードに於て舉行せられた、同黨設立趣意書
には保守黨のサー・ジョン・ウオードロー・ミルン、英首相の
息ランドルフ・チャーチル少佐、オックスフォード大學教授ア
レキサンダー・リンゼー等が署名して居り、同黨の政綱は個人
の主導性と自由主義經濟原則の維持を中核とせるもので、共產
黨員の入黨は嚴禁されてゐる

(102)

六月十一日 金曜日

五八一四

反樞軸軍パンテラリア島占領

北阿反樞軸軍司令部發

表に依れば、伊領パンテラリア Pantelleria 島の守備軍が降伏し

(五五九三)

反樞軸軍は同島に進駐中である

五八一五

米海運状況
ブエノスアイレス十一日發同盟電に依れば

米戰時海運局長官ランドは最近米の戰時海運状況に就て次の

如く發表した

一、戰時海運局の統管下にある貨物船の配船比率は陸軍四一%、

海軍一三%、租賃局三〇%、民需一六%

二、右の外海事委員會が建造乃至入手した船舶二百二十五隻は補

助艦船其他軍用の爲め直ちに陸海軍に引渡された

三、陸海軍が備船してゐる船舶の重量噸は陸軍三十万噸、海軍三

十六万六千噸で、陸海軍の直接管理下にある船舶總數は三百

七十隻である (五八〇七)

五八一六

英の米に對する逆租賃狀況
米租賃局長ステツチニ

アスは租賃法に基く英の米に對する逆租賃に關する報告を次の

如く發表した

一九四二年七月から本年四月一日迄に英は米に對し各種物資
百三十六万二千噸、建築資材二百十七万七千噸を供給した

駐英米軍は租賃の代償として食糧品其の他凡ゆる軍需資材の
補給を無料で受けて居り、本年一月から三月迄に英から受け
た補給高は左記の通りである（單位千封度）

小麥粉	一六二五〇	馬鈴薯	五五〇〇	パン	五〇〇〇
砂糖	七二五〇	野 菜	三五〇〇	計	三七五〇〇
					(五四四四)

五八一七 米租賃法豫算上院可決 米上院は總額六十二億七千三
百六十二万九千弗に上る一九四三―四年度租賃法豫算案を可決、
白聖館に回付した、同豫算案の主要項目は次の通りである（單
位千弗）

食糧品購入費四四五二六二三 輸送及補給費一五二六五九
(五六二一)

五八一八 米罷業彈壓法案下院可決 米下院は上下兩院協議會を
通過した罷業彈壓法案を二百十九票對百二十一票を以て可決し
た (五七九八)

五八一 米大統領米の物資不足言明
口大統領は記者會見に於て、悪性インフレーションの脅威は相當深刻で、當局の推測に依るに一般購買力と物資供給の差は百六十億弗を超過せんとし

てある旨言明した
(五一九一)

五八二 米本年の穀物收穫豫想
米農務省は本年に於る穀物收穫に就て、穀物收穫高の見透しは五月中に悪化し六月一日現在では過去三箇年間に於る最悪の事態が豫想されるに至つた、即ち春蒔及冬蒔の小麥總收穫豫想高は昨年より約二億五千万ブツ

シエル減少する見込である旨發表した
(五七〇四)

五八一 米食糧需給状況
米食糧監理局長ロイ・ヘンドリクソンはニューヨークで開催された小賣業聯盟大會に於て米食糧需給状態に關し左記の如く述べた
一、一九四三年に米國で生産される食糧の二五%迄租賃用に留保しなければならぬ關係上、米國民は今後一層少い食糧割當を覺悟するを要する
二、一九四三年には肉類の増産は十億封度を目標としてある
三、米は過去二箇年間に四百五十万噸の食糧を反樞軸國に輸出し

た、又一九四一年には生産食糧の四%を米軍隊及反糧軸國に供給したが、一九四二年には此の率は一三%に増加した

(五〇四二)

五八二二 米民衆の對日。獨感情

ギヤラツプ Gallup 輿論調査所

は最近「戦後米は獨逸及日本と友好關係を復舊し得るや」との質問の下に米民衆の輿論を調査したが、「然り」とする者が獨に就ては六七%であつたが、日本に就ては僅かに八%であつた旨發表した (五六四四)

五八二三 帝國政府其他亞新政府承認

外務省發表に依れば帝國

政府はアルゼンチン臨時政府を承認した
アルゼンチン政府はスエーデン、ハンガリー、ドミニカ、ブル
ガリア、コロンビア、ボリヴィア、メキシコ並にポーランド、
オランダ、ギリシヤ各政權が新政府を承認し又ヴァチカン駐節
アルゼンチン大使ホセ・マヌエルは十一日法王廳にマリオ・ネ
國務長官を訪問し今回の政變に就て報告、承認を求めた旨を發
表した
米國務長官ハルは、米政府はアルゼンチン新政府を承認した旨

發表した
エクアドル、ヴェネズエラ兩國政府はアルゼンチン新政府を承認した (五八一〇)

五八二四 駐米洲諸國公使館昇格
メキシコ外相エセキエル・

パテイラ Ezequiel Padilla は、米洲諸國駐節のメキシコ公使館は今回繰て大使館に昇格した旨發表した (五三一三)

五八二五 工場就業時間制限廢止
政府は重要産業の増産を期し戦時行政特例法を發動して工場法戦時特例を制定し、右に伴ひ工場就業時間制限令を廢止することとなり、工場就業時間制限令撤廢に關する勅令案竝に工場法の戦時特例勅令案要綱の二件が閣議に於て決定せられた (五六四一)

六月二十二日 土曜日

五八二六 帝國海軍航空部隊のルツセル島上空に於る戰果
大本營發表に依れば帝國海軍航空部隊は大舉ルツセル島上空に進撃、敵機數十と交戦、其の二十三機を撃墜した、我方の損害未歸還機五 (五一〇六)

五八二七 米二潜水艦喪失發表

米海軍省は潜水艦グラムパス

Grampus 一四七五噸及アンバージャック Amber Jack 一五〇〇噸が

期日を過ぐるも基地に歸還せず喪失せるものと認められる旨公表した (五六五〇)

五八二八 反樞軸軍ランペドウサ島占領

北阿反樞軸軍司令部發

表に依ればランペドウサ島(五七八〇)守備隊は午後降伏した (五八一四)

五八二九 英陸・空相アルジエール着

北阿反樞軸軍司令部發表

に依れば英陸相グリッグ Sir James Giffels 及同空相シンクレア Archibald Sinclair がアルジエールに到着した(二四〇五)

五八三〇 米一日の戦費

米大藏長官モーゲンソーはキングスト

ンに於る米戦時財政の近状に關する報告中に於て、米政府は本年後半に百四十億弗の公債を發行する。米の戦費は現在一日二億四千万弗に達した旨を述べた (五五五〇)

五八三一 米戦時生産局報告

米戦時生産局長官ネルソンは左記

の如き要旨の戦時生産報告を口大統領に提出した
一、一九四三年の米戦費は昨年と比較し八〇%方増加する見込

一、戦時生産の増加に因り民需生産は昨年と比較して二〇%方減少の見込

一、軍用機の生産は昨年より増加する見込 (五七八三)

五八三二 米罷業彈壓法案上院可決 米上院は罷業彈壓法案を五

十五票對二十四票で可決、白聖館に回付した(五八一八)

五八三三 英亞新政權承認 アルゼンチン新政府は英、米、カナ

ダ、ベルギーの各國政府が十一日アルゼンチン新政府を承認し

た旨發表した (五八二三)

五八三四 日泰電氣通信協定調印 逓信省發表に依れば日泰電氣

通信協定がバンコックに於て逓信省木村外信課長と泰國交通部

ウオンチヤン・ウイムワタノン通信局長の間調印され

れ近く實施を見ることとなつた、協定の主要項目は次の通り

である

一、和文電報は當分バンコック宛のものに限り取扱ふ

一、料金は一通に付和文私報は本文五字迄が二圓四十錢、五字を

超ゆる時は五字以内を増す毎に八十錢、歐文私報は名宛及本

文を通算し三語以内が三圓、三語を超ゆる時は一語を増す毎に

一圓を超過する時は一語を増す毎に一圓を超過する時は一語を増す

毎に一圓を超過する時は一語を増す毎に一圓を超過する時は一語を増す

毎に一圓を超過する時は一語を増す毎に一圓を超過する時は一語を増す

毎に一圓を超過する時は一語を増す毎に一圓を超過する時は一語を増す

毎に一圓を超過する時は一語を増す毎に一圓を超過する時は一語を増す

毎に一圓を超過する時は一語を増す毎に一圓を超過する時は一語を増す

五八三五 行政巡察報告 第一回行政巡察の結果に關する鈴木行
政巡察使談が情報局から發表せられた (四一八)
(五六〇〇)

六月十三日 日曜日

五八三六 ランペドウサ島守備軍降伏 伊軍司令部發表に依れば

ランペドウサ島の伊駐屯軍は抵抗を停止した(五八二八)

五八三七 反樞軸軍伊領リノサ島占領 北阿反樞軸軍司令部發表に依れば

ランペドウサ島東北約三十哩の伊領リノサ Linosa 島の守備隊は早朝降服した (五八三六)

五八三八 英の動員兵力 反樞軸情報委員會 Anti-Axis Information

Committee は英の動員兵力に就て、英本國の男子人口二千二百

二十五万人中千二百五十万人が動員乃至徵用せられ、内國防軍

Home Guards が二百萬、防護團員 Defense Corps が四百萬であ

る旨を發表した (五〇三三)

五八三九 英東地中海艦隊司令官アンカラ着 英東地中海艦隊司

令官サー・ジョーン・カニンガムはアンカラに到着した (五八〇六)

五八四〇 波首相バグダッド着 ポーランド亡命政權首相シコル

スキーはバグダッドに到着した (五六七五)

五八四一 米船舶建造狀況 米海事委員會は油槽船其の他九百二

十九隻の建造注文を左記の如く發した旨發表した

一 油槽船 マリンシップ造船所三六隻、オレゴン・カイザイ造船所四七隻、ヴァンクーヴァ・カイザイ造船所四八隻、サン

造船所七五隻、アラバマ造船所二八隻、計二三四隻

二 コンクリート船 ノース・カロライナ造船所二型二七隻、

インゴール造船所三型一〇隻、計三七隻

三 改良リバーチ型貨物船 カリフォルニア造船所八四隻、オレ

ゴン造船所一〇五隻、ベツレヘム造船所一一二隻、パスマネ

ント造船所一一〇隻、計四一一隻

四 リバーチ型貨物船 カリフォルニア造船所二〇隻、オレゴ

ン造船所一七隻、ベツレヘム造船所一五隻、パスマネント造

船所三一隻、ジョーンズ造船所一一二隻、セント・ジョーン

ズ造船所五二隻、計二四七隻

總計 九二九隻

(五七一七)

五八四二 米不正軍需生産者處刑せらる 米アナコンダ銅線會社

が米陸海軍省に粗悪な銅線を納品し五百万弗の不当利得を収め

たるに由り、責任者同社総支配人トール・ジョーンソン以下五名

が禁錮二箇年、罰金一万弗以下の刑に處せられた(五一二七)

五八四三

カナダ軍需生産狀況

カナダ軍需相クラレンス・ハウ

Clarence D. Howe

は同國の軍需生産狀況に就て、カナダは護衛

船、哨戒船、貨物船を含む船舶六隻を每週進水せしめて居り、更に自動車八千、戦車四百五十、重砲九百四十、小銃千三百を生産してゐる、カナダは參戰以來船舶三百隻、自動車四十七万五千、戦車二万四千、重砲五万五千、小銃六十三万、爆彈八十万を生産した旨發表した (四六五九)

五八四四

伊に於るガソリン節約

伊政府はガソリン節約のため

農民用トラクターを今後六箇月間に全部木炭瓦斯用に改造すべき旨布告した、右改造に要する器材は組合省と軍需生産省が共同で生産配給する豫定である (四五二〇)

五八四五

大日本飛行協會學生航空隊

大日本飛行協會學生航空

隊五十六校四百二十六名(操縦訓練生百八十八名、技術部員二百三十八名)の羽田、調布兩訓練所本年度八所式が午後、羽田東京飛行場に於て舉行せられた

六月十四日 月曜日

五八四六 反樞軸軍司令部ランビオーネ島占領發表 北阿反樞軸

軍司令部は英海軍部隊がランベドウサ島北西十六軒の伊領ラン
ビオーネ Lampedusa 島を占領した旨發表した (五八三七)

五八四七 英戦略空軍部隊 英空軍省は英本土に新に戦略空軍部
隊 Tactical Air Force を編成せられ少將ジョーン・ヘンリー・
ダルビアツク John Henry D'Albiae が司令官に任命せられた旨
發表した (五〇二七)

五八四八 米軍需會社を接收 口大統領は特別大統領令を以て海
軍長官ノックスにフライデルフィアのハウアーズ・ベアリング社
Howers Bearing Company の接收を命令した。同社の經營が

不良なるがためである (五八三二)

五八四九 米人口 米軍監獄パーランドは下院豫算支出委員會
に於て、一九四二年に於る米出生率は前年に比し千人に付一八・
七から二〇・七に増加し、死亡率は一〇・五から一〇・三に減
少した旨言明した (四七四九)

五八五〇 米人的資源動員狀況 米人的資源委員長ポール・マク

ナットは下院歳出委員会に於て米人的資源動員計畫を就て左記の如く説明した

一 米陸海軍兵力は六月末に於て九百二十万に、本年末迄に一千九十万に増加する豫定である、即ち今後六箇月間に百七十万が新に徴集される

一 米軍需工業に従事してゐる労働者数は現在一千万であるが、之は今後一年間に一千百三十万に増加させる計畫である

一 軍及軍需産業方面の必要に基き今後更に二百十万の一般民需産業従業者が軍及軍需産業に振向けられよう、右の外家庭主婦、學生等の遊休人的資源約百二十万も直接戦争に關係ある

一 斯て直接關係に米の戦争努力に従事する者は六千四百四十万に達する (五四五七)

五八五一 英労働黨大會

英労働黨大會が全英九百の労働代表參

集の下にロンドンセントラル・ホール Central Hall に於て開催せられ、労働黨の政治休戦撤回動議が上程されたが七對一を以て同動議は否決せられた (五六九三)

五八五二

伊フアシスト

黨全國幹部會

會は閉會に當り、

書記長カルク・

スコルツアの

名を以て九項

目から成る決戰態勢確立に關する措置案をムツソリーニ首相に

提出した

(五二七二)

(1040)

六月十二日 土曜日

補遺 五八五三 ビルマ訪日視察團 ウ・ニ團長以下二十五名のビルマ訪日視察團
が午前入京した (五二四二)

六月十五日 火曜日

五八五四 米潜水艦喪失發表 米海軍長官ノックスは記者會見に
於て太平洋戦線に於て米海軍は潜水艦八隻を喪失した旨發表し
た (五八二七)

五八五五 伊作戦地區擴大 伊政府はバリ、プリンヂシ等南伊の
アドリア海沿岸竝にシチリアと接近せるカラブリア地方一帯を
作戦地區に編入した (五二五五)

五八五六 英東地中海艦隊司令官アンカラ發 英東地中海艦隊司
令官ジョーン・カニンガムは空路アンカラ發エデプトに向つた
(五八三九)

五八五七 英シリア・トルコ國境閉鎖 在シリア英軍當局は午前

六時突如トルコ・シリア兩國國境を閉鎖した

在トルコ英大使館附陸軍武官アイノルドは午前十一時トルコ

國防相アリ・リザ・アルツンカルに對し右國境閉鎖を通告した

五八五八 スチルウエル重慶歸任 在支米軍司令官スチルウエル

は朝空路重慶に歸着した (五七〇三)

五八五九 米女子勞務者數 米勞働省婦人局長メリー・アンダー

ソンは米女子勞務者數に就て、米の女子勞務者數は現在三百五

十萬と推定せられ、内重要軍需産業に勤務する者は左記の通り

である旨言明した(單位千名)

航空機	一八三	發動機	二二三	プロペラー	三
銃砲類	六	砲彈製造	三九	小銃彈製造	六六
電氣部品	二七八	造船	四三	工作機械	一五

計 六五六 (五八五〇)

五八六〇 米五月中の戦費 米大藏省當局は五月中の戦費が七十
三億七千三百萬弗に達した旨發表した (五八三〇)

五八六一 駐米ソ聯大使テヘラン着 駐米ソ聯大使リトヴィノフ
はテヘランに到着した (五五九八)

五八六二 英イラン石油協定調印 英・イラン兩國政府間にイラ
ンの油田開發に關する協定が調印せられた、右に依り英はイラ
ンに石油生産高に拘らず一律に一年四百萬磅を支拂ふこととな
つた (五三〇)

五八六三 大東亞戰爭公債發行 大東亞戰爭公債六億圓が預金部
及日本銀行引受に依り發行された (五七二三)

五八六四 比島訪日視察團入京 マニラ市市長レオン・ジ・ギン
ト(二二四四)氏外十九名の比島訪日視察團が午前入京した (五七九〇)

五八六五 第八十二帝國議會 貴衆兩院成立 (五七四〇)

六月十六日 水曜日

五八六六 ルンガ沖航空戦 大本營發表に依れば帝國海軍航空部
隊は戦爆連合の大編隊を以てガダルカナル島ルンガ沖敵輸送船
團を襲撃し、左記の戦果を収めた、我方の損害未詳遺機二十、

本戦闘はルンガ沖航空戦と呼稱せられる

撃沈 輸送船 大型四隻 中型二隻 小型一隻

驅逐艦 一隻

中破 輸送船 大型一隻

撃墜飛行機 三二以上 (五八二六)

五八六七 在英米空軍の獨空襲状況 米陸軍省は、在英米空軍は

本年に入り現在迄に對獨空襲に十八回参加し重爆撃機だけで合

計百四機を喪失した旨發表した (五八〇五)

五八六八 英皇帝チユニシア視察 英帝子ヨ一子六世は陸相グリ

ツグ及空相シンクレア(五八二九)を随へ目下北阿チユニシア

に於て英第一、第八軍並に海軍部隊を視察中である旨バツキン

ガム宮殿當局から發表せられた (五七九二)

五八六九 米印經濟協定調印 米戰時經濟局は米政府と印度政廳

との間に印度産黄麻布七億ヤード輸入に關する協定が調印せら

れた旨發表した (五五一八)

五八七〇 宋美齡オツタワ着 訪米中の宋美齡はオツタワに到着、

カナダ兩院議員合同席上に於て演説を行つた(五四二六)

五八七一 佛亞政府承認發表
した旨發表した

佛政府はアルゼンチン政府を承認
(五八三三)

五八七二 第八十二帝國議會

天皇陛下親臨の下に開院式が舉行せられた

東條首相は貴衆兩院に於て施政方針演説を行ひ其の中に於て、
帝國は日華間の條約に根本的改訂を加へ兩國の協力態勢に更に
一步を進めんとするものであること及帝國は比島に本年中に獨
立の榮譽を與へんとするものなることを中外に宣明する旨及南
方占領地就中ジャワに就ては其の民衆に鑑み民衆の興望に應へ
て能ふ限り速に原住民の政治參與に關する措置の實現を期せん
とすものである旨を述べた
皇軍將兵に對する感謝敬弔決議案が衆議院に於て全會一致を
以て可決せられた
(五八六五)

六月十七日 木曜日

五八七三 シリア・トルコ間國境再開 在トルコ英大使館當局は

早朝トルコ政府に對しトルコ・シリア國境を十七日午前六時再
開し、シリアへの入國は軍籍にある者を除き許可する旨通告し
た (五八五七)

五八七四 英帝アルジェール着 英皇帝チヨイチ六世はアルジエ
ールに到着した (五八六八)

五八七五 米大統領西阿代表ダカール着 佛領西阿口大統領代表
ウイリアム・グラスフォードはダカールに到着した (五六五五)

五八七六 米海軍豫算案上院可決 米上院は總額二百七十六億三
千七百万弗の一九四三―四年度海軍本豫算案を可決、白聖館に
回付した (五六〇五)

五八七七 米の造船狀況 米海軍委員長ランドは米造船狀況に就
て左記の如く言明した

一、海軍委員會は一九四三年中に大洋航行用船舶一千八百八十九
万重量噸の建造を豫定して居り、これに同年中の軍用竝に小

艇の建造高を加へると二千万噸を超過しよう

一、右を隻數にすれば一千八百隻となり、内自由型船舶一千三百隻、C型船舶二百五十隻、高速度油槽船二百五十隻である

一、一九三八年乃至一九四四年の七年間に米造船所に於て建造される船舶數は四千八百八十隻五千万噸に達する

一、自由型船舶建造に當つてある造船所數は十七（内二は一九四一年に一〇は一九四二年に五は一九四三年に夫々建造）、其

の船臺數は約百五十である、但し右の中二造船所は最近油槽

船の建造に振向けられ、又他の二造船所も過去數箇月間軍用

特別艦艇の建造に當つてある (五八四一)

五八七八 米労働事故數 米戦時労働局は工場に於る労働事故に

就て、一九四〇年七月から一九四三年一月迄に工場に於て事故

のため四万八千五百人の労働者が死亡し、二十五万の労働者は毎

指、手、腕、足等を喪ひ、事故のため職場を離れる労働者は毎

三週間に平均五千三百名に上り、又事故に因る喪失労働日數は

約三百万労働日である旨發表した (五三八五)

五八七九 ソ墨相互公使館昇格 ソ聯政府當局はソ聯及メキシコ

兩國政府は相互に公使館を大使館に昇格することに決定した旨
發表した

駐メキシコ蘇聯大使コンスタンチン・ウーマンスキー Constantine Oumansky はメキシコ市に到着した (三八九二)

五八八〇 駐ソ濠公使離任 駐ソ濠公使ウイリアム・スレーター William Slater は病氣のためシドニーに歸着した(四二八〇)

五八八一 獨の國內就業者數 獨政府當局は獨國內就業者數は開戦當時に比較して六月一日現在三百五十万を増加し、本年最初の五箇月間に約二百万を増加した旨發表した(五七七〇)

五八八二 ユーゴスラヴィア内閣總辭職 在ロンドン、ユーゴスラヴィア内閣は總辭職した (八二〇)

五八八三 第八十二帝國議會第二日 昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案、同各特別會計歳入歳出豫算追加案及企業整備資金措置法案外法律案六件が衆議院に於て可決貴族院に送付された (五八七二)

六月十八日 金曜日

五八八四 英帝チブラルター到着 英皇帝チヨージ六世は朝アル

ジエリアから空路チブラルターに到着、午後六時空路チブラルターを出発した (五八七四)

五八八五 印度總督並に英印軍司令官更迭 英政府當局は現英印

軍總司令官ウエイヴェル(五七〇三)がリンリスゴウの後任として印度總督に、前西亞軍總司令官クロード・オーヒンレック Sir Claude John Auchinleck が後任英印軍總司令官に任命せられた旨發表した (三三五四)

五八八六 英東亞軍司令部創設 英政府は、今回日本軍に對する

作戰遂行の特殊目的を以て別個に東亞軍司令部(五八八五)を設置することに決定した旨を發表した (五八四七)

五八八七 米陸軍豫算案下院歳出委員會可決 米下院歳出委員會は總額七百十五億弗に上る一九四三―四年度陸軍本豫算案を可決、本會議に回付した、尙同豫算案に於る陸空軍擴充計畫の内容は次の通りである尙本豫算案には化學戰部隊費十一億五千四百萬弗が計上(米下院歳出委員會)

一、飛行機建造 (單位千機) 練習機 一二 輸送機 九

爆撃機 三六 戦闘機 三八

一、飛行場九百の維持

一、航空隊員の養成 (單位千名) 航空士 一八

技術家 三〇二 操縦士 八三 (五六〇七)

爆撃士 一二

五八八八 米五月中の飛行機生産高 米戦時生産局は五月中の飛行機生産高は凡ゆる機種を含み七千二百機 (五五三三) に達した旨發表した (五八三一)

五八八九 米戦時労働局 米戦時労働局は、入坑より出坑迄の時間を労働時間と看做し賃金算定の基準とすべしとする鑛山労働組合側の要求を八對四を以て否決した、尙右否決に反對した四名は A F L 並に C I O の代表各二名であつた (五七九四)

五八九〇 亞大統領選舉中止 アルゼンチン大統領ラミレス將軍は大統領令を以て本年九月施行される大統領選舉及選舉人名簿の作成を中止し、且現在迄使用された臨時政府なる名稱を廢し爾今正式にアルゼンチン政府と呼稱せらるべき旨布告した (五八七一)

アルゼンチン大統領ラミレス將軍

は大統領令を以て本年九月施行される大統領選舉及選舉人名簿

の作成を中止し、且現在迄使用された臨時政府なる名稱を廢し

爾今正式にアルゼンチン政府と呼稱せらるべき旨布告した

(五八七一)

五八九一 亞政府共産黨員逮捕　　ヴェノスアイレス市郊外に於て
十八名の共産黨員が共産主義の地下運動を行つた處で逮捕せら
れた
(五八九〇)

五八九二 英法王廳使節ローマ着　　駐ヴァチカン英公使フランシ
ス・オズボーン Francis Osborne　　はリスボン經由空路ローマに到
着した

五八九三 比島獨立準備委員　　比島派遣軍は、比島方面陸軍最高
指揮官は新比島奉仕團（カリバビ）に對し比島人代表者より成
る比島獨立準備委員の編成を命じた旨發表した（五八七二）

五八九四 谷大使東京發　　谷駐華大使は午後東京驛發歸任の途に
就いた
(五七七四)

五八九五 第八十二帝國議會第三日　　政府提出の豫算案及法律案
が貴族院に於て可決成立した
衆議院に於ては米英擧推一億敢鬪決議案が全會一致可決せられ
た
(五八八三)

六月十九日 土曜日

五八九六 英海外輸送兵員數 英海軍省は、英海軍が一九四〇年

六月佛降服以來海外に三百万の英兵を輸送し、此の間海兵一千

三百名の犠牲者を出した旨發表した (五八三八)

五八九七 氷島反樞軸軍司令官更迭 歐洲方面反樞軸軍司令部附

少將キーンがアイスランド島駐屯反樞軸軍司令官少將ボンステ

ールの後任司令官に任命せられた (五六一七)

五八九八 米巡洋艦進水 米海軍省發表に依れば巡洋艦ヒュース

トン Houston 號が進水した (五七一五)

五八九九 シリアに於る軍事地帯 シリアに於る反樞軸軍當局は

ベイルートからシリア北部のラタキア Latakia に至る約百十哩の

海岸地帯を軍事地帯とする旨發表した (五八七三)

五九〇〇 英帝モールタ島着 英帝チヨード六世はチブラルター

より空路モールタ島に到着した (五八八四)

五九〇一 米租賃狀況 米租賃局次長ステツチニアスは最近に於

る租賃實績に就て左の如く發表した

一、五月中の租賃額は七億九千万弗に達し、内七億一千六百万弗

は物資、残りは勞務に對する支拂額である、かくて租賃法實

施以來の實績は百十八億九千三百万弗に達した

一、租賃法に依る四月中の輸出總額は從來の記録を破り八億三千九百万弗に達したが之を主要國別にすれば次の通りである

單位百万弗	一
英國	三六三
ソ聯	二三三
アフリカ及中東方面	一一一
ソ聯に對する租賃高は一九四一年開始以來今日迄に總額二十一億二千三百万弗に達し全輸出額の二割六分を占めてゐる	(一五八一六)

五九〇二 米、加油田開發 米陸軍省は米陸軍當局がカナダ政府

協力の下に同國西北部ノーマン油田地帯の開發を行つてゐる旨發表した (一五七五二)

五九〇三 伊人口 伊政府當局は五月三十一日に實施せられた國勢調査の結果に就て伊新占領地域住民を除く伊人口は四千五百

七十八万六千人なる旨發表した (一五八五二)

五九〇四 子ヤンドラ・ボース氏訪日 元印度國民會議派議長スバ・ス・チヤンドラ・ボース氏 Subhas Chandra Bose 氏が最近獨より

來朝目下東京滯在中なる旨十九日の夕刊紙に於て發表せられた

(五六一三)

五九〇五 華北食糧收買辦法

華北政務委員會は食糧重點縣内に

於る食糧收買辦法及食糧重點地區外に於る食糧收買辦法(四九

二三)を公布即日實施した、右に依り食糧の收買は合作社、採

運社又は當局の許可を得たる者のみに依り公定價格に於て行は

れることとなつた (四五六一)

五九〇六 第八十二帝國議會閉院式
午前貴族院に於て舉行せられた

第八十二帝國議會閉院式が
(五八九五)

六月二十日 日曜日

五九〇七 英印度軍司令官着

英印度軍司令官オーヒンレックは

ニューデリーに到着した

(五八八五)

五九〇八 伊の決戦措置 伊政府は左記の如き決戦措置を發表した

一、官吏の戦時手當二割五分引上及家族手當並に年金の増額を七月一日より實施する外サルチニア島の諸機關に對し特別融資を以て空襲の被害救済を圖る

一、從來の労働訓練機關を統合し中央労働者錬成所を設置する
二、戦時労働制の實施に關し從來ファシスト黨の擔當してゐた事務を組合省に於て擔當する
三、十八歳以上三十六歳迄の男子及十八歳以上二十四歳迄の女子を最も合理的な方法で戦争努力に参加させる

(五九〇三)

五九〇九 谷大使上海着 谷駐華大使は上海に到着した (五八九四)

六月二十一日 月曜日

五九一〇 三大將元帥府に列せらる 海軍大將永野修身、陸軍大將寺内壽一、同杉山元の三大將が元帥府に列せられた時に元帥の稱號を賜うた (五六一五)

五九一一 米軍ニュージールランド到着 リスボン二十一日發同盟艦に依れば南太平洋反樞軸艦隊副司令官ウイルキンソンはオー克兰ドに於て放送演説を行ひ、最近米軍の大部隊が米本土からニュージールランドに到着、目下同地に於て訓練中であるが近

く太平洋の最前線に出動する旨を述べた
五九一二 米陸軍豫算下院可決 米下院は總額七百十五億弗に上
る一九四三―四年度陸軍豫算案を可決、上院に回付した
(五八八七)

五九一三 米炭坑夫總罷業 組合側と炭礦主側との交渉不調の儘二十日
の休憩期間満了したる爲米東部諸州の炭坑夫五十万は午前零時よ
り總罷業を再開した
(五八八九)

五九一四 米百万キロワット発電所完成 米内務長官イツキース
はコロラド河の大堰堤ボールド・ダム Boulder Dam の水力を利
用する百万キロワットの発電所が完成、作業を開始した旨發表
した

五九一五 中國聯合準備銀行滿洲中央銀行に借款供與 滿洲、華
北間の物資交流を緊密化するため中國聯合準備銀行は滿洲中央
銀行(三六九六)に對し九千万圓の借款を供與することとなり
午前十一時北京中國聯合準備銀行に於て王時璟同行總裁と西山
滿洲中央銀行總裁との間に右に關する借款契約が調印せられた
(五〇六七)

昭和十八年六月二十二日—二十八日

六月十八日 金曜日

補遺 五九一六 反樞軸通貨會議

左記十八箇國より成る第一回反樞軸通貨安定會議が

華府に於て開催された

米、英、濠洲、カナダ、重慶、ソ聯、エクアドル、パラグアイ、ヴェネズエ
ラ、ベルギー、チエッコスロヴァキア、エヂプト、フランス、ルクセンブル
グ、オランダ、ノールウエー、ポーランド、フィリッピン（五七四五）

六月十九日 土曜日

補遺

五九一七 米五月中の軍需生産減退

米陸軍次官ハタリーソンは五月中の軍需生産

状況に就て記者會見に於て、五月中の軍需生産は豫定計畫より五・五%低く、
四月の軍需品生産高十五億五千三百萬弗に比し五月には十四億九千四百萬弗で
三・五の減退を示し、航空機と無線機を除く全軍需品生産は低下してある旨及
右の原因として水害、罷業等も考へられるが根本的な原因は歐洲爆撃に因る迅
速な勝利の過信、軍需物資貯藏量が豊富であるこの無根の風説等である旨言明

した

(五八八八)

六月二十日 日曜日

補遺 五九一八 帝國陸軍航空部隊ポルト・ダーウィン空襲 大本營發表に依れば帝國陸軍航空部隊はポルト・ダーウインを空襲、敵機二十七機を撃墜、三機を地上撃破、兵舎群の大部分及飛行場施設を爆撃した、我方の損害自爆三機 (五〇八一)

補遺 五九一九 比島獨立準備委員會成立 比島方面陸軍最高指揮官は二十日十一時新比島奉仕團特別全島代表者大會に於て左記を以て構成せる比島獨立準備委員會を認可し比島獨立に關する準備の開始を命じた旨比島派遣軍から發表せられた

比島獨立準備委員會

委員長

ホセ・ピー・ラウレル
Jose P. Laurel

内務長官

第一副委員長

ラモン・アバンセニア
Ramon Avansena

參議

第二副委員長

ベニグノ・エス・マキノ
Benigno S. Aquino

新比島奉仕團副總裁
兼事務總長

委員

ホルヘ・ビー・バルガス

Jorge B. Vargas

行政長官

アントニオ・デ・ラス・アラス

Antonio de las Alas

財務長官

テオフィロ・エル・シソン

Teofilo L. Sison

司法長官

ラファエル・アール・アルナン

Rafael R. Alunan

農商務長官

クラロ・エム・レクト

Claro M. Recto

教育厚生長官

キンティン・パレデス

Quintin Paredes

土木交通長官

ホセ・ユロー

Jose Yulo

大審院長

エシリオ・アギナルド

Emilio Aguinaldo

参議

同

同

同

同

同

同

同

同

ミゲル・ウンソン
Miguel Unson

参議

同

カシロ・オシマス
Camilo Osias

参議、新比島奉仕團
事務長

同

ビセンテ・マドリガル
Vicente Madrigal

参議

同

マヌエル・シー・ブリオネス
Manuel C. Briones

控訴院判事

同

エシリマノ・テイ・テイロナ
Emiliano Tirona

職業局長

同

マヌエル・ロハス
Manuel Roxas

前財務長官

同

ペドロ・サビド
Pedro Sabido

前麻協會長

同

アラウヤ・マロント・サルタン・ラマイン
Alaoya Alonto, Sultan Sa Ramain

前上院議員

同

メレシオ・アランス
Melencio Aranz

参議

(五八九三)

六月二十一日 月曜日

補遺

五九二〇

萬國農事會議委員會夏期會議

萬國農事會議常設委員會の定期夏期會議

議がローマに於て開催せられた、議題は農業の經濟的、技術的分野に於る國際的協力の諸問題で左記二十箇國の代表が參加してゐる

日、獨、伊、アルゼンチン、ビルマ、ブルガリア、アイルランド、デンマーク、フィンランド、フランス、イラン、クロアチア、パラグアイ、ポルトガル、ルーマニア、スペイン、スエーデン、スイス、トルコ、ハンガリー

補遺

五九二一

英帝トリポリ着

英帝ジョージ六世はモールタ島から巡洋艦オーロラ

ヲ號 AURORE に乗艦トリポリ Hippo に着した

(五九〇〇)

補遺

五九二二

英罷業狀況

英労働省は一九四一年及一九四二年に於る英の罷業件數を次の通り發表した、尙罷業の五分の二は炭坑罷業である

件數 罷業労働者數 喪失労働日數

一九四一年

一、二五二

三六、五〇〇

一、〇七九、〇〇〇

一九四二年

一、三〇三

四五、六七〇

一、五二七、〇〇〇

(五二〇九)

×

×

×

×

×

×

六月二十二日 火曜日

五九二三 ソ聯聲明書發表 ソ聯政府情報局は獨ソ開戦二週年に

當り「祖國戦争の二箇年」と題する聲明書を發表し、其の中に於て、第二戦線なくしては獨軍に對し勝利を収めることは出来ない旨を述べ、過去二箇年間に於る赤軍の損害を次の如く發表した

戦死及行方不明 四百二十六萬 火 砲 三萬五千

戦 車 三萬 飛行機 二萬三千

獨軍當局は、右赤軍の損害に就て獨軍の算定に依れば赤軍の損害は捕虜だけでも五百三十六萬五千名に達し戦死傷捕虜を合すれば二千萬を超過する旨及兵機の損害は火砲五萬、戦車三萬三千、飛行機四萬となる旨發表した (五八一二)

五九二四 佛領北阿政權軍事委員會設置 佛領北阿政權は左記七

人より成る常設軍事委員會を設置することに決定した
ド・ゴール將軍派
ルネ・ドラルミナ大將、フィリップ・オーボアノ提督、
マルシイアル・ヴァラン空軍大將

チロー將軍派

アルフォンス・ジュアン大將、コリネ海軍少將、ブーカイ

空軍大將

無所屬 ドミエル・ピロー大將

尙海軍少將コリネがミシユリイエ提督に代り佛海軍聯合艦隊

司令官に任命せられた

チロー將軍は北アフリカ及西アフリカの佛軍總司令官に、ド・

ゴール將軍は其の他佛領植民地軍の總司令官に就任した

(五七九七)

五九二五

米海軍兵學校修業年限短縮 米海軍兵學校の修業年限

を四年から三年に短縮する趣旨の法律案が衆に上院を通過、二

十二日下院に於て可決せられた (五八五〇)

五九二六

米炭坑罷業中止 米嶺山労働組合會長ルイスは二十二

日内務長官イツキーズと會談の結果新協定に到達し、嶺山労働

組合政策委員會は現在罷業中の五十餘萬の炭坑夫に對し直ちに

職場へ復歸するやう指令を發した旨及罷業中止期間は十月三十

一日午後十二時迄で此の間炭坑夫は内務長官の指揮下に従業す